

令和4年度 学校評価表( 計画・**中間**・最終)

【 5月初旬・**11月末** 3月初旬 】

学校名( 熊野町立熊野中学校 )

a 学校教育目標	「前向き (Be positive. )」	b 経営理念 ミッション・ビジョン	心豊かで確かな学力を備えた教育の推進 地域に開かれ、地域の期待に応え、地域から信頼される学校の創造 地域を愛し、地域から愛され、地域に生きる子どもの育成
-------------	-----------------------	-------------------------	--

評価計画(5月初旬提出)					自己評価				学校関係者評価			n改善方策		
c 中期経営目標 (3年後を見据えて)	d 短期経営目標 (今年度)	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	h 達成値	i 達成値	j 評価 A~D 4段階 評価	k 結果と課題の説明 (短期経営目標につ いての評価結果)	l 自己評価に関する評価 (関係者評価者の合計人数)			m コメント	11月	3月
					10月	2月			i= h/g 達成 度	イ 適正	ロ 不適 正			
学んで良かった学校	自己表現できる生徒の育成	自己分析・表現力・クリティカルシンキングを活用した自己表現できる生徒の育成	自己表現できる場の設定と評価を行う	100%	75.0%	75.0%	C	○今年度、全教職員が自己表現力の育成を最重要視している。 ○授業や自己表現タイム等で、表現の場を設定し、経験を重ねることで、生徒に姿や工夫が見えつつある。 ●時間いっぱい表現できなかったり、相手に分かりやすい表現になっていなかったりする生徒がまだいる。	8	0	0	○学校全体で課題意識を共有し、取り組んでいることがよく分かった。 ○上半期の目標を達成した教職員が75%は素晴らしいことであり、B評価でもよいと思う。 ●自己評価は適正であると考え、尊重するが、到達目標に差があり、自己評価での個人差が大きいと思う。	・教科の特性を生かしながら、引き続き、授業内で生徒が表現する場を設定する。 ・HRでの自己表現タイムにおいて、ブラッシュアップできるように、担任を中心に評価し、表現力を育成していく。 ・3年生の公立高入試に向け、自己表現について学校運営協議会委員に模擬検査官を務め、助言していただくことで、表現力を高めていく。	
			・自己表現の質の向上		66.0%	66.0%	C	●生徒質問紙では、「相手にわかりやすく伝えている」が66.5%の肯定的回答率に止まっている。 ●「思いや考えを言葉や作品で表すことができる」の肯定的回答率は65.4%である。						
地域から信頼される学校	地域と協働した学校の創造	生徒と地域が協働した学校の創造	コミュニティースクールを活用した取組を行う	100%	86.7%	86.7%	B	○今年度、新たに3名の委員を迎え、防災や生徒に近い立場からも意見をもらうことができた。 ○表現力の育成に向け、新聞の推薦記事選定にも協力してもらっている。 ●今後、新たな学校課題の解決に向け、協働していくことが求められている。	7	0	0	○新聞切り抜きに協力し、学校を運営する当事者であるとの認識をもつことができた。 ○生徒が参加したことで、学校の様子がより分かった。 ●表現力の育成とリンクさせた協働の取組であり、さらに工夫すると、より良くなると思う。 ●現状でできることはできているかもしれない。	・新聞切り抜きの協力依頼を継続し、生徒が参加できるように、学校運営協議会の運営を工夫していく。 ・表現力の育成以外の学校課題についても、改善に向けて協議できる場を設定していく。	

j評価 A~D 4段階評価  
 A: 100 ≤ (目標達成)  
 B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100  
 C: 60 ≤ (もう少し) < 80  
 D: (できていない) < 60